

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	令和7年度 第2回北はりま定住自立圏共生ビジョン会議
開催日時	令和7年10月17日（金曜日） 午後2時00分～3時30分
開催場所	多可町生涯学習まちづくりプラザ「あすみる」 1階 大会議室
出席委員の氏名又は人数	10人
欠席委員の氏名又は人数	4人
出席職員の職・氏名又は人数	オブザーバー3人、事務局3人、各事業担当者
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	0人
議題又は協議事項	1 第4次北はりま定住自立圏共生ビジョンの概要について 2 第4次北はりま定住自立圏共生ビジョンにおける具体的な取組内容について 3 第4次北はりま定住自立圏共生ビジョンの策定スケジュールについて
会議の記録（概要）	
発言者	<p>（開会） （事務連絡）</p> <p style="text-align: center;">— 以後、三宅会長が進行 —</p> <p>（議事1 第4次北はりま定住自立圏共生ビジョンの概要について） 資料1、資料2に基づき、事務局から説明</p>
事務局	
会長	

	(質問等なし)
会 長	(議事2 第4次北はりま定住自立圏共生ビジョンにおける具体的な取組内容について) 資料3に基づき、各事業担当者から説明 — 第4次共生ビジョンで新たに取り組む事業 — (No. 3、16、20、21、22、25、32、35)
委 員	(No.16 高齢者の学びと活躍支援事業) 高齢者の学びの相互交流は喜ばしいことであるが、女性が多く、男性が少ないという課題があるのではないか。
西脇市担当者	令和7年度の西脇シニアカレッジの学生は、331名中男性は39名と約1割となっている。運営委員会の委員も女性が多くなっており、そこも含めた課題となっている。
委 員	(No.35 教職員人事交流調査研究事業) 5年間にわたり、人事交流の調査等を行うことは良いことだと思うが、このまま少子化が進むと西脇市・多可町だけでは同様の課題が再び起こることが想定される。教職員の人事は県の管轄になると思うが、圏域外の近隣市町との交流も視野に県との連携を図る必要があるのではないか。
多可町担当者	兵庫県とも相談しながら、まずは両市町での交流を促進していきたい。
会 長	兵庫県の人事になるので難しいところもあると思うが、要望については県に向けて情報発信し続けることが重要と考えている。
委 員	(No.21 雇用促進事業) 企業にとって人材確保に苦慮しており、ありがたい事業ではある。企業への就職説明会の周知についてはどのように行っているのか。

西脇市担当者	西脇商工会議所、多可町商工会を通じて、企業への周知を図っている。
委員	商工会議所、商工会に加盟していなければ、参加できないものか。
西脇市担当者	基本的には加盟企業のみ参加となっている。
委員	人材確保に悩む企業のためにも西脇市、多可町に事業所を持つ企業すべてを対象となるように検討していただきたい。
委員	(No. 3 救急医療機関支援事業) 救急患者搬送時に搬送先がなかなか決まらないことがあった。状況的に仕方ないところもあるかもしれないが、救急ということから考えると理解できない部分があり、説明いただきたい。
西脇市担当者	救急要請を受けた後、患者の容態を確認し、近い医療機関から当たっていくが、状況によってはスムーズに受け入れできないこともある。救急隊も医療機関の情報を持っており、医療機関としてもなるべく受け入れに努めている状況である。
委員	(No. 20 産業交流推進事業) 令和10年度以降、事業費が減っているがそれはなぜか。
西脇市担当者	令和9年度までは国の交付金を活用できる見込みがあり計上しているが、それ以降は市町の単独の経費となるため、事業費が抑えられている状況である。
委員	違う交付金の活用なども検討していただきたい。
委員	播州織産地博覧会や播州織フェアの開催がこれまで西脇市で行われているが、多可町で開催する機会はあるのか。

西脇市担当者	<p>実行委員会や公益財団法人北播磨地場産業開発機構が実施主体になっており、開催地については今後の検討事項と聞いているため、実現するかは不明ではあるが、要望として伝えることは可能ではある。オープンファクトリーイベントでは、西脇市、多可町の事業所で行っており、両市町が開催場所となっている。</p>
委員	<p>(No.21 雇用促進事業)</p> <p>高校生を対象とした就職説明会を行っているとのことだが、高校生以上の大学生のUターン向けの説明会は行っていないのか。</p>
西脇市担当者	<p>大学生等については、新卒者だけでなく、社会人経験者を含んで合同就職面接会という形で実施しているのが現状である。</p>
委員	<p>合同就職面接会の発信方法はどのように行っているのか。</p>
西脇市担当者	<p>Uターンの方への発信のみに絞らず、新卒者・既卒者を対象としているのが現状である。</p>
会長	<p>具体的な周知方法を教えていただきたい。</p>
西脇市担当者	<p>実施主体である西脇商工会議所、多可町商工会が行っており、市町でもホームページ・広報紙への掲載、行政無線での周知を図っている。</p>
会長	<p>開催場所は首都圏への出展ではなく、西脇市内のみでしているのか。</p>
西脇市担当者	<p>開催場所は、西脇市内のみである。</p>
委員	<p>帰ってきて働くところがないと言う大学生もいると聞くので、大学生のUターン向けにもしっかりと発信してほしい。</p>
西脇市担当者	<p>周知方法には課題もあるが、UIJターンでも面接会に本人が参加できない場合もあるので、大学生の親</p>

	<p>も参加できるなど対象者を広げた形で実施しているのが、現状である。</p>
<p>委 員</p>	<p>(No.35 教職員人事交流調査研究事業)</p> <p>教職員も減っている中で、教育の質をあげないといけない。学力の低下も懸念されるため、すぐには難しいかもしれないが、人事交流だけでなく、教育の質をあげる中身の部分を両市町で考えていただきたい。</p>
<p>多可町担当者</p>	<p>学校教育環境向上事業でも記載しているが、両市町合同で職員研修会を行っており、連携しながら質の向上につなげたい。多可町3中学校では、教科担当がないこともあったが、統合中学校により解消される。近い将来、同じような課題が起こりうるので、人事交流の調査研究を進めていきたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>(No.22 シルバー人材センター運営支援事業)</p> <p>元気な方は、シルバー人材センターに登録せず、別のところに行く方が多いと想定されるので、退会者も含め、推移を報告していただきたい。</p>
<p>西脇市担当者</p>	<p>雇用延長などの影響もあり、入会者よりも退会者が上回っているのが現状である。シルバー人材センターでも努力している状況であり、令和6年度は入会者118名、退会者127名で9名の減となっている。</p>
<p>委 員</p>	<p>(No.32 国道175号東播丹波連絡道路整備促進事業)</p> <p>国道175号の工事について、すごく時間がかかっているように感じるが、この事業はどこまでつながることによって完了となるのか。事業概要にある啓発ではなく、早くつなげてほしいというのが住民の希望だと思う。</p>
<p>西脇市担当者</p>	<p>国道175号東播丹波連絡道路は、起点を滝野社IC、終点を氷上IC付近として国が計画した高規格道路である。下戸田～黒田庄町大伏の区間（西脇北バイパス）の整備費が約550億円（4車線）となっており、整備の進捗については、国の予算の配分による。その中で、西脇市をはじめとする沿線市は整備を早期に実現するように要望しており、開通後に利用が想定される</p>

	<p>多可町とも早期完成を一緒に取り組むため、今回事業としたものである。道路を望む地域の熱を国に伝える必要があるため、地域に道路について知ってもらうことを早期完成の第一歩と考え、学習会等を行うものである。</p>
<p>委 員</p>	<p>(No.35 教職員人事交流調査研究事業)</p> <p>小学校のコミュニティスクールの委員をしており、先生が忙しくしている状況を見ている。その中で教育の質の向上が難しい部分もあると思う。先生が余裕を持てるように教育委員会で取り組めれば良いのではないかと考えている。</p>
<p>多可町担当者</p>	<p>教育の質向上に関する研修も計画する中で、いろいろと足すだけでなく、質向上のために負担を減らすことも考えていきたい。多可町では統合中学校に併せ、部活動の地域展開も行う予定となっている。</p>
<p>会 長</p>	<p>大学でも中学校、高校と連携した授業が増えてきている。多様な教育が求められる中で多様な人材を取り込むことも検討してもらい、先生の負担を減らしながら、質の向上に取り組んでいただきたい。</p>
	<p>— 第3次共生ビジョンから継続で取り組む事業 —</p>
<p>委 員</p>	<p>(No.14 スポーツイベント交流事業)</p> <p>過去に開催されていたへそマラソンが中止になった理由と復活する可能性があるのかを教えてほしい。</p>
<p>西脇市担当者</p>	<p>これまで40回を超える歴史があったイベントではあるが、スタッフ確保や警備の関係、経費など運営面での負担が大きくなったことでやむなく中止となった。地域からの盛り上がりがあり、地域の皆様主体の運営体制が整えば、応援していきたい。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>欠席の富永委員から事前に質問があり、事務局が代読する。</p> <p>(No.6 病病連携推進事業)</p> <p>全国的に医師不足が深刻となっているが、西脇病院</p>

	<p>と多可赤十字病院は、医師派遣で連携しており、住民の安心につながっている。看護師不足も深刻となっており、西脇病院でも看護師確保と離職防止に努められているかと思うが、多可赤十字病院では看護師数はどのような状況か。足りているのであれば、経営体系が異なるため難しいかもしれないが、看護師の病病連携ができれば良いのではないか。</p>
多可町担当者	<p>全国的に看護師不足は顕在化しており、多可赤十字病院でも看護師数は充足していない状況である。そのため、支障のない範囲での人員配置に努めながら業務に当たっている。看護師確保に向けた取組は行っているが、すぐには効果が出ていない状況である。</p>
西脇市担当者	<p>西脇病院でも看護師が充足している状況ではなく、募集に対しても半数程度の採用となっており、現在の状況では看護師の病病連携は難しい状況である。春先から夏場頃など、比較的余裕がある時期もあるので、例えばその時期に絞るなどを含めて検討していきたい。</p>
会 長	<p>(議事3 第4次北はりま定住自立圏共生ビジョンの策定スケジュールについて) 資料4に基づき、事務局から説明</p>
委 員	<p>パブリックコメントを行うことになっているが、何件程度の意見が寄せられるものなのか。</p>
事 務 局	<p>昨年度、3市1町北播磨広域定住自立圏のビジョン策定時は、数件程度だった。意見の件数ではなく、市民の方の意見をいただける貴重な場と認識している。</p>
会 長	<p>共生とは、必ずしも両市町で同じことをしなければいけないというわけではなく、この部分は西脇市が取り組み、その代わりこの部分は多可町が取り組むといったように、共生のあり方を柔軟に捉えることも必要だと考える。お互いに良くなるために知恵を絞って力を合わせて取り組んでいただきたい。 委員の方にはたくさん意見をいただき、感謝している。既存の概念に限らず、それを飛び越える新しい意</p>

<p>事務局</p>	<p>見があっても良いと考えている。それによって利益が大きくなることもあると思う。生活が持続可能になるような共通の目的で今までのラインを超えるような動きを行政と市民が力を合わせてやってもらえれば良い。</p> <p>こうなれば良いといった意見を行政に寄せていただき、市民と行政が一緒になって地域を良くしていくことが大切。特に西脇市と多可町が共同で実施できることを具体的に発展させていければ良いと考えている。</p> <p>(事務連絡) (閉会)</p>
<p>問合せ先</p>	<p>西脇市市長公室政策推進課 TEL：0795-22-3111（内線3052） FAX：0795-22-1014</p>